

遠くは見えても近くが見えにくい

あなたの視力大丈夫？

黒板は見えるのに、手元の教科書の字が見えにくい。そんなこれまで見落とされがちだった視力の異常が少しずつ認識されつつある。いくつかの原因が考えられるが、学習意欲の低下につながることも多いという。【大道寺峰子、撮影も】

◆眼球運動機能

- 読むときに字や行を飛ばして読んでしまう
- どこを読んでいるのかわからなくなる
- 黒板を写すのに時間がかかる
- 運動の中で球技が特に苦手

◆調節機能

- 物がぼやけて見えることがある
- パソコンが見づらい

◆両目の連動性

- 物が二つに見えることがある
- 深視力(遠近感)が弱い

◆視覚情報の処理機能

- 漢字が覚えられない
- 図形の問題が苦手
- 方向の認識が弱い

(一つでも該当すると、視覚機能に問題がある恐れが考えられる。北出勝也さん作成)

「本を読むと、とても疲れてしまう。形の似たアルファベットも区別しづらい」と兵庫県加古川市の黒田華世さん(31)は振り返る。本は一行ごとに定規を当てながら読み進める工夫をしてきたという。

黒田さんは今年、眼鏡を新しくしようとインターネットで検索し、神戸市中央区の「視機能トレーニングセンター Joy Vision」のホームページに掲載されていたチェックリスト表参照を見つけ、当てはまるものが多く驚いた。

「小さい時からボールをぶついたり、ちょっとした段差につまずいたり。自分が『ドシ』ななだと思っただけで、見え方のせいと分かって納得できた話です。」

●複雑な機能
同センター代表で、米国オプトメトリスト(検眼士)の資格を持つ北出勝也さん(37)によると、黒田さんの場合は右目と左目の調整力にずれがある。

「学校の視力検査では、片方ずつ測定して済みますことが多い。でも、両眼を寄せたり、離れたりする力を調べたり、見たものを的確に脳が処理できているかどうかなど、実は視覚は複雑な機能。総合的に判断することが大切です」と北出さんは説明する。

眼鏡の役割を重視する欧米では、眼科医、眼鏡店以外に、視覚機能を総合的に検査するオプトメトリストが広く知られている。日本でも斜視や弱視などの訓練

子どもの学習意欲 低下のおそれも



ひもに付けられた複数の球に目線を素早く動かす訓練で症状の改善を指導する北出さん(右)

就学前後に「近見視力」測定を

にあたる視能訓練士という国家資格があるが、あまり知られていない。

北出さんほもっと視覚機能の重要性を知ってほしいと、全国約30の眼鏡店などと昨年「視覚機能研究会」(http://www.joyvision.biz/shikaku_study.htm)をつくった。

●生活習慣と別
「学校の健康診断では、黒板が見えるかどうかの『遠見視力』しか調べないが、手元が見えるかどうかの『近見視力』が、視力異常をチェックするうえで重要」。桃山学院大の高橋ひとみ教授(健康教育)は指摘する。

通常の視力検査では、ランドルト環と呼ばれる「C」形のものを用い離れて見

るが、これは遠見視力をみるもの。近見視力は、ランドルト環を50分の3に縮小し、30センチ距離で調べる。高橋教授は10年以上前から子どもたちの近見視力について調査してきた。04年に大阪府内の小学校で全児童680人を調査したところ、遠見視力が1・0以上にもかかわらず、近見視力は1・0未満というケースが、右目で9・5%、左目で16・0%いた。

教科書の文字を読むのに支障があるとされる0・7未満に、片目でも該当する児童は8・0%いた。

テレビなど生活習慣の影響をみると、遠見視力は強い関連がみられ、学年が上がるほど視力不良者が増えた。一方、近見視力はほと

んど関連なく、学年による数の違いもなかった。

さらに高橋教授は昨年、東京都内の中学で1年生120人に、近見視力と学習能力についてチェックリストをもとに11項目のアンケートを実施した。

両目で見た時の近見視力が1・0未満の生徒は、1

・0以上の生徒に比べ、文字や行を飛ばして読む「どこを読んでいるのかわからなくなる」「パソコンの画面が見づらい」「物が二つに見えることがある」という4項目で、困難を感じることが多かった。

高橋教授は、小学校や幼稚園などでも調査を継続。「個別の原因や、学習障害(LD)との関連、検査のあり方などさらに詳しく検証していく必要がある。ただ、子どもの視力は就学前後に発達完了すると言われるだけに、小学校低学年の健診にぜひ近見視力を導入してほしい」と訴えている。

